

環境
価値住まい手
価値経済
価値社会
価値

経済価値

住宅産業は、その裾野の広さからさまざまな面で経済の活性化に寄与してきました。また、住まいの資産価値を守ることも私たちの大切な役割です。魅力的な付加価値を多くの人に提供し、得られた利益を社会に還元するという、経済の良好な循環を私たちはめざしています。

経済性パフォーマンス

住宅産業は、その裾野の広さから、さまざまな面で経済の活性化に寄与してきました。しかし、当社が考える経済価値はそれだけではなく、住まいの資産価値を守ることも大切な役割です。スクラップ&ビルドによる一時的な経済効果を求めるのではなく、永く快適に暮らせる住まいの提供とサポートによって成立する新しい経済効果を生み出すことが持続可能な社会に向けて必要であると考えます。

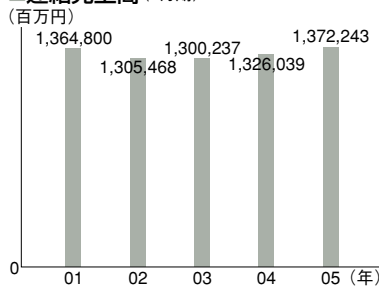
魅力的な住まいを多くの人に適正な価格で提供し、そこで得られた適正な利益を株主や従業員、関係会社、そして社会に還元する。そして企業価値を高めるために投資していくという経済の良好な循環をめざして取り組みを進めています。

中期経営ビジョン

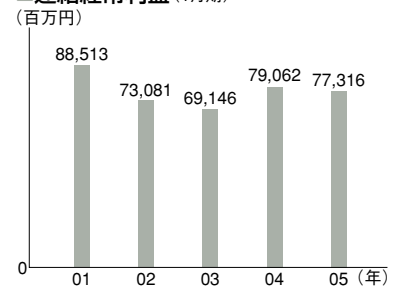
当社は、2004年10月に「積水ハウスグループ・中期経営ビジョン“S-Project”」を発表しました。「成長」をキーワードに、未来に向けて発展を続ける道標となるものです。この計画は単なる売上・利益の成長にとどまらず、CS(顧客満足)、SS(株主満足)、ES(従業員満足)の向上を図り、CSR(企業の社会的責任)を果たす企業グループとして認知されることをめざしています。

当面の経営目標を2009年1月期に連結売上高2兆円、営業利益・経常利益を2,000億円に据え、そのための施策として、商品力の強化、積極的な人材投入など営業先行投資によるコア事業の拡大はもとより、積和不動産各社の100%子会社化およびリフォーム事業の分社化など、グループ組織の再編・強化策を実行していきます。また、積和不動産では建売住宅事業「MAST」に取り組みます。

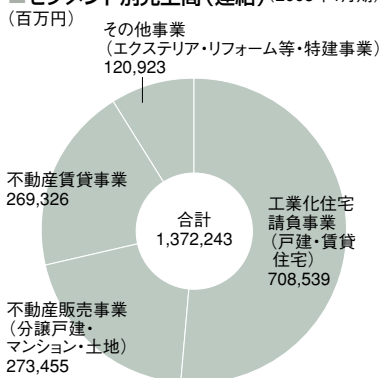
■ 連結売上高 (1月期)



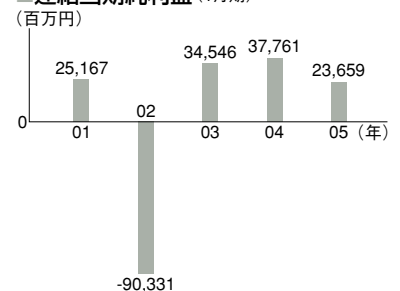
■ 連結経常利益 (1月期)



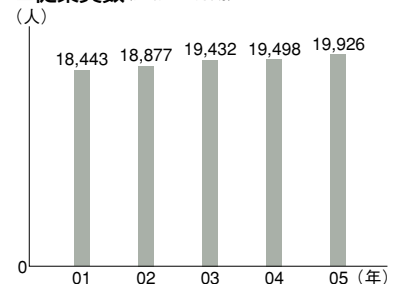
■ セグメント別売上高 (連結) (2005年1月期)



■ 連結当期純利益 (1月期)



■ 従業員数 (連結 1月期)



企業・IR(投資家)情報や経営指標推移等は、
<http://www.sekisuihouse.co.jp/company/> をご覧下さい。



<http://www.sekisuihouse.co.jp/eco/eco2005/pdata/economic/>

経済価値

→ 経済性パフォーマンス

● 中期経営ビジョン ● 財務データ Data

生産部門の環境会計

積水ハウスの事業活動は、ステークホルダーの皆様に対してさまざまなかたちで経済的影響を及ぼしています。そのため、環境保全活動を行うために投下されたコストや、得られた効果を皆様に説明する責任があると考え、環境会計を集計・開示しています。現在グループ一体となって新築施工現場のゼロエミッションにも取り組んでいることから、今後は事業所も対象範囲に加えて環境会計に取り組んでいきます。

2004年度環境保全活動に関する環境会計データ

(単位:百万円)

環境保全活動	環境保全コスト (投資額)	環境保全コスト(費用額)			経済効果	経済収支*	環境保全効果
		環境保全 減価償却費	廃棄物処分・ リサイクル委託費	その他の 費用額			
廃棄物削減・リサイクル	41	25	281	131	117	△320	リサイクル量 18.3千t
資源の有効活用	25	26	0	0	169	143	水系塗料削減 139t 用紙使用量削減
エネルギーの有効活用	32	22	0	0	38	16	CO ₂ 削減量 2.3千t-CO ₂
有害物質削減	27	55	0	0	6	△49	水質汚濁の防止など
研究開発	0	0	0	21	0	△21	住宅の長寿命化の実現
環境マネジメント	14	6	0	6	0	△12	事業所の緑化、騒音防止など
合計	139	134	281	158	330	△243	

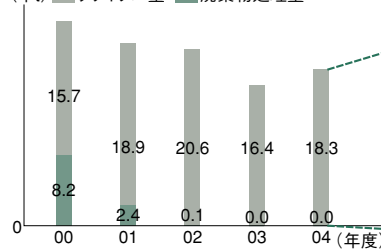
*経済収支:経済効果について、その本質は環境保全コストの一部回収であると位置付け、その回収部分を考慮した上での財務パフォーマンスを経済収支としています。これは、経済効果額から環境保全コストの費用額を差し引くことで算出します。

2004年度は、投資額が139百万円と前年度より19百万円(16%)増加しました。費用額の合計は573百万円となり、112百万円(16%)減少しています。経済効果は141百万円(30%)減少して330百万円となっています。

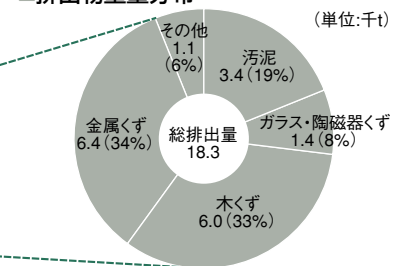
廃棄物削減・リサイクル活動については、排出量が前年度から1.9千t増加し、18.3千tになりました。それに伴い、リサイクル委託費が10百万円増加しました。これは、集成材の自社加工が増加し、木くずの排出量が増加したことが主な原因です。一方、経済効果は鉄くずの売却単価が上昇したこともあって、前年度から64百万円増加し117百万円となりました。

エネルギーの有効活用では、環境保全活動を行わない場合に比較して2.3千t-CO₂が削減されていることがわかりました。これは、照明機器の更新や製造設備の運転を制御することにより電力量を削減するなどの活動が積み重なった成果です。活動により38百万円の経済効果を生み出しています。

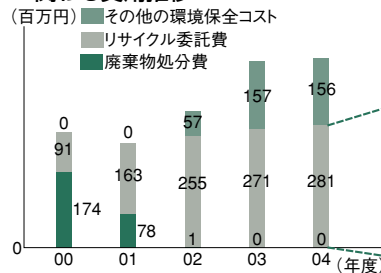
■ 廃棄物量・リサイクル量の推移
(千t) ■ リサイクル量 ■ 廃棄物処理量



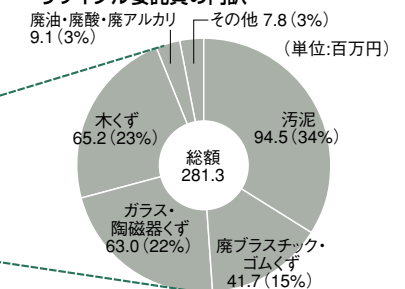
■ 排出物重量分布
(単位:千t)



■ 「廃棄物削減・リサイクル」活動に関する費用推移
(百万円) ■ その他の環境保全コスト ■ リサイクル委託費 ■ 廃棄物処分費



■ 「廃棄物削減・リサイクル」活動に関するリサイクル委託費の内訳
(単位:百万円)



【集計対象期間】 2004年2月1日から2005年1月31日まで
 【集計対象範囲】 積水ハウス株式会社の6工場:東北工場・関東工場・静岡工場・滋賀工場・兵庫工場・山口工場
 【認識のしかた・把握のしかた】 前年度までと同様ですが、詳細はWEBにてご覧ください。



<http://www.sekisuihouse.co.jp/eco/eco2005/pdata/economic/>

経済価値

環境会計

●2004年度生産部門の環境会計